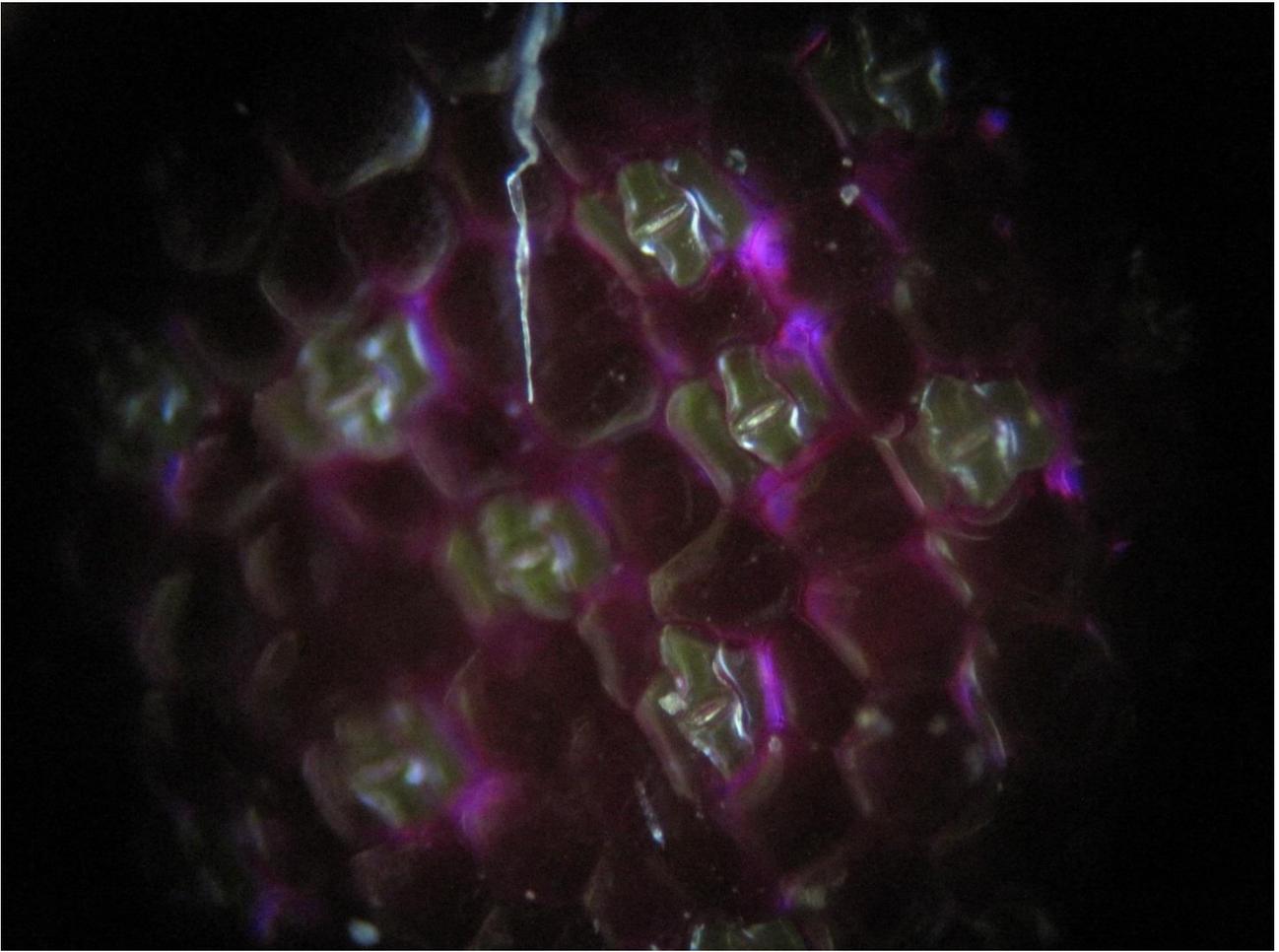


シマフムラサキツユクサを使った気孔の観察



シマフムラサキツユクサを使うことで、容易に気孔の観察を行うことができます。

方法は、葉の裏を対物レンズ側に向けてステージにのせて顕微鏡で観察するだけです。葉の表皮をはいだし、プレパラートをつくったりする必要はありません。

シマフムラサキツユクサは挿し芽でどんどん増えるので、学校で栽培し増やしておくことをお勧めします。ただし、霜にあたると枯れてしまいますので、冬期間は、日当たりのよい窓際に置いておくのがよいでしょう。

ホームセンターや時に 100 円ショップなどでみかけるときがあります。

山形市理科教育センターでは、挿し芽でどんどん増やしていますので、必要な時はいつでもお声がけください。年間を通して対応できます。

